

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 国語 科目 国語読解

教科：国語 科目：国語読解

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～ 8組

使用教科書：（リテラ 現代文3（文英堂））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語読解 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読				
1 学 期	【知識及び技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 「ふれとしての文体」 「ネットワークシティ」 「科学の危機」				○				10
	【知識及び技能】 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 「ミナナの行進」 「郷愁」				○				9
	【知識及び技能】 ・比喩や例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や機動的な述べ方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 「なぜ、多様性が必要か」 「かたちの日本来」 「（心）はからだの外にある」				○				7
	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 「なすな」 「東京オリンピック」				○				5
	【知識及び技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 「ニトバ・言葉・ことば」 「明治の表象空間」 「ほんものにせもの」 「新しい幸福論」 「白い山」				○				10
2 学 期	定期考査					○				1
	【知識及び技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 「生と死への眼差し」 「暇と退屈の倫理学」 「変化に順れる社会の不安」 「夕の光」 「子どもの行方」				○				15
	定期考査					○				1

3 学 期	【知識及び技能】 ・比喩や例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・教材 『故郷を失った文学』 『テルミヌスの変身』 『自由と秩序』 『風美入草』	【知識・技能】 ・比喩や例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解できる。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解できる。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを明確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することに向けて粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることに向けて粘り強い取り組みを行う中で、自ら学習を調整しようとしている。	○	○	○	○	10	合計		
											70
	定期考査			○	○			○		○	1